更新日 2025 年 2 月 8 日

学会・研究会での発表（口頭・ポスター） ※筆頭のものに限る

1　星　博幸，背斜と向斜．日本地学教育学会第 78 回全国大会，J:COM ホルトホール大分，2024 年 8 月．

2　星　博幸・北野陽太・三田一葉・高嶋礼詩・林　圭一，北海道東部，白糠丘陵に分布する根室層群の古地磁気層序と古地磁気回転．日本地球惑星科学連合 2024 年大会，幕張メッセ，2024 年 5 月．

3　星　博幸，瑞浪層群宿洞層（中新統）の古地磁気 : パレオパラドキシアは日本海拡大を見たか？ 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張メッセ, 2024 年 5 月．

4　星　博幸，地質の空間分布の多様性．第 55 回種生物学シンポジウム，愛知県青年の家，2023 年 12 月．

5　星　博幸，伊豆衝突帯周辺の中新世地殻変形（招待講演）．日本地質学会第 130 年学術大会，京都大学，2023 年 9 月．

6　星　博幸・高橋亮貴・高嶋礼詩・林　圭一，根室層群の白亜系–古第三系境界堆積物の磁気特性. 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, 幕張メッセ, 2023 年 5 月．

7　星　博幸・北野陽太・三田一葉・高嶋礼詩・林　圭一，北海道東部，白糠丘陵に分布する根室層群の古地磁気層序．日本地球惑星科学連合 2023 年大会，幕張メッセ，2023 年 5 月．

8　星　博幸，伊豆衝突帯周辺の本州地殻の変形 : 陸上地質と古地磁気の証拠．東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「フィリピン海プレート北端部テクトニクスの再検討」，東京大学大気海洋研究所，2022 年 11 月．

9　星　博幸・川上　裕・岩野英樹・檀原　徹，紀伊半島東部の四万十付加体竜神コンプレックスに挟在する珪長質凝灰岩のジルコン U-Pb 及び FT 年代．日本地質学会第 129 年学術大会，早稲田大学，2022 年 9 月．

10　星　博幸・岩野英樹・檀原　徹, 長野県中部に分布する守屋層火山岩類（中新統）のジルコン U-Pb 年代とその層序学的意義．日本地質学会第 129 年学術大会，早稲田大学，2022 年 9 月．

11　星　博幸，日本海拡大時の西南日本の移動様式 : 紀伊半島、田辺層群の古地磁気データからの制約．日本地球惑星科学連合 2022 年大会，幕張メッセ（ハイブリッド），2022 年 5 月．

12　星　博幸, 田辺層群の古地磁気から推定される日本海拡大期の西南日本の移動様式．令和 3 年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．オンライン，2022 年 3 月．

13　星　博幸・久野元晴，北日本，青森県津軽地域の地殻回転運動．2021 年度日本地球化学会年会，オンライン，2021 年 9 月．

14　星　博幸・三輪哲生・杉崎雄一・堤田健太・岩野英樹・檀原　徹，島弧衝突に関連した高遠-守屋地域（長野県）の地殻回転．日本地質学会第 127 年学術大会，

オンライン，2021 年 9 月.

15　星　博幸・久野元晴, 本州北部, 西津軽地域の地殻回転運動. 日本地質学会第 127 年学術大会，オンライン，2021 年 9 月.

16　星　博幸・岩野英樹・檀原　徹, 日本海拡大時に西南日本は時計回りに回転した : 外帯の中新世堆積物からの証拠．日本地球惑星科学連合 2021 年大会，オンライン，2021 年 6 月.

17　星　博幸，地学をよく知らない小学校・中学校・高等学校教員をどうサポートするか（招待講演）．日本地球惑星科学連合 2021 年大会，オンライン，2021 年 6 月.

18　星　博幸・岩野英樹・檀原　徹，紀伊半島に分布する田辺層群（中新世堆積物）の U-Pb 年代と古地磁気．令和 2 年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．オンライン，2021 年 3 月.

19　星　博幸・岩野英樹・檀原　徹，西南日本，田辺層群（中新世堆積物）の U-Pb 年代と古地磁気 : 予備的報告．地球電磁気・地球惑星圏学会第 148 回講演会，オンライン，2020 年 11 月.

20　星　博幸，日本海拡大（基調報告）．第 6 回東北ジオパーク学術研究者会議．オンライン，2020 年 7 月.

21　Hoshi, H., Implications of new Paleocene paleomagnetic data from SW Japan for the mode of early opening of the Japan Sea (invited). JpGU-AGU Joint Meeting: Virtual, 2020 年 7 月.

22　Hoshi, H. and Ohashi, M., Highly scattered paleomagnetic directions of middle Miocene volcanic rocks in the Inase area in Northeast Japan: vertical-axis rotations? JpGU-AGU Joint Meeting: Virtual, 2020 年 7 月.

23　星　博幸, 西南日本の暁新世火山岩脈群から得られた古地磁気データとそのテクトニックな意味. 令和元年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．高知大学海洋コア総合研究センター，2020 年 2 月.

24　Hoshi, H., Sahashi, K., Yanagisawa, Y., Kurihara, Y. and Hiroki, Y., Paleomagnetism of the lower part of the Ichishi Group in Southwest Japan. 地球電磁気・地球惑星圏学会第 146 回講演会，熊本市国際交流会館，2019 年 10 月.

25　星　博幸・山本裕二・Maxwell C. Brown・政岡浩平・Justin Tonti-Filippini，アイスランド西部に分布する溶岩群の古地磁気研究. 日本地質学会第 126 年学術大会，山口大学，2019 年 9 月.

26　星　博幸・佐橋花菜・柳沢幸夫・栗原行人・廣木義久，三重県，一志層群（中新統）の年代と古地磁気回転．日本地質学会第 126 年学術大会，山口大学，2019 年 9 月.

27　星　博幸，伊豆半島の須崎恵比寿島における石碑の風化．2019 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第 73 回全国大会，秋田大学，2019 年 8 月.

28　星　博幸・松尾卓郎，中部日本の前期中新世堆積物の古地磁気方位とそのテクトニックな意義．日本地球惑星科学連合 2019 年大会，幕張メッセ，2019 年 5 月.

29　星　博幸，石碑の風化：伊豆半島，須崎恵比寿島における例．名古屋地学会第 70 回総会・講演会，芳陵会館（名古屋市），2019 年 5 月．

30　星　博幸・松尾卓郎，岩村，天狗棚，新野峠に分布する前期中新世堆積物の古地磁気方位と回転運動．名古屋地学会第 70 回総会・講演会，芳陵会館（名古屋市），2019 年 5 月．

31　Hoshi, H., Oshida, H., Hayashi, H., Iwano, H., Danhara, T., Kurihara, Y. and Yanagisawa, Y., Age of the N7/N8 (M4/M5) planktonic foraminiferal zonal boundary determined from magnetobiostratigraphy and zircon geochronology. 2018 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, Washington, DC, 2018 年 12 月．

32　星　博幸・大信田彦磨・林　広樹・岩野英樹・檀原　徹・栗原行人・柳沢幸夫，浮遊性有孔虫化石層序 N7 帯/N8 帯境界の年代．日本地質学会第 125 年学術大会（つくば特別大会），産業技術総合研究所，2018 年 12 月．

33　星　博幸，土についての大学生の認識と小学校・中学校理科教育との関連．平成 30 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第 72 回全国大会，筑波大学，2018 年 8 月．

34　星　博幸・大信田彦磨・林　広樹・岩野英樹・檀原　徹・栗原行人・柳沢幸夫，浮遊性有孔虫層序 N7 帯/N8 帯境界の年代：古地磁気層序と U–Pb 年代測定による検討．日本地球惑星科学連合 2018 年大会，幕張メッセ，2018 年 5 月．

35　星　博幸・黒木竜太郎・大信田彦磨，西南日本，中新統一志層群上部の古地磁気と岩石磁気．日本地球惑星科学連合 2018 年大会，幕張メッセ，2018 年 5 月．

36　星　博幸，関東対曲構造の形成はいつ始まったか？ 日本地球惑星科学連合 2018 年大会，幕張メッセ，2018 年 5 月．

37　Hoshi, H., Oshida, H., Hayashi, H., Iwano, H., Danhara, T., Kurihara, Y. and Yanagisawa, Y., Dating the N7/N8 (M4/M5) planktonic foraminiferal zonal boundary. 2018 European Geosciences Union (EGU) General Assembly, Vienna, 2018 年 4 月．

38　Hoshi, H., Kuroki, R. and Oshida, H., Magnetostratigraphy of an early Miocene sedimentary sequence in central Japan: implication for the age of the N7/N8 (M4/M5) planktonic foraminiferal zonal boundary. 2018 European Geosciences Union (EGU) General Assembly, Vienna, 2018 年 4 月．

39　星　博幸・大信田彦磨・林　広樹・岩野英樹・檀原　徹・栗原行人・柳沢幸夫，浮遊性有孔虫層序 N7 帯/N8 帯境界の年代：古地磁気層序と U–Pb 年代測定による検討．平成 29 年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．高知大学海洋コア総合研究センター，2018 年 3 月．

40　Hoshi, H. and Sugisaki, Y., Tectonic implications of a paleomagnetic direction obtained from a Miocene dike swarm in central Honshu, Japan. 2017 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, New Orleans, 2017 年 12 月．

41　星　博幸・杉崎雄一，飛騨地方に発達する中新世岩脈群の古地磁気と回転運動．地球電磁気・地球惑星圏学会第 142 回講演会，京都大学防災研究所，2017 年 10 月．

42　星　博幸，中新世における西南日本の時計回り回転：レビュー．日本地球惑星科学連合 2017 年大会，幕張メッセ，2017 年 5 月．

43　星　博幸・伊藤真規，紀伊半島北部に分布する中新世火砕流堆積物の古流向：帯磁率異方性（AMS）からの推定．日本地球惑星科学連合 2017 年大会，幕張メッセ，2017 年 5 月．

44　星　博幸，小学校理科における「土」の扱い．名古屋地学会第 68 回総会・講演会，芳陵会館（名古屋市），2017 年 5 月．

45　星　博幸・近藤幸実，砕屑岩脈の注入方向を磁気測定から探る：中新世小佐岩脈の例．地球電磁気・地球惑星圏学会第 140 回講演会，九州大学，2016 年 11 月．

46　星　博幸・山本裕二・渋谷秀敏，磁極と地磁気極．平成 28 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第 70 回全国大会，四国大学，2016 年 10 月．

47　星　博幸・岩野英樹・檀原　徹・酒向和希，濃飛流紋岩のジルコン U-Pb 年代：約 70 Ma の急速形成．日本地質学会第 123 年学術大会，日本大学文理学部，2016 年 9 月．

48　Hoshi, H., Iwano, H., Danhara, T. and Sako, K., U-Pb evidence for rapid formation of the Nohi Rhyolite, one of the largest caldera-forming volcanic complexes on Earth. 35th International Geological Congress 2016, Cape Town, 2016 年 8 月．

49　Hoshi, H., Iwano, H., Danhara, T. and Iwata, N., Dating of altered mafic intrusions by applying a zircon fission track thermochronometer to baked country rock. 35th International Geological Congress 2016, Cape Town, 2016 年 8 月．

50　星　博幸・近藤幸実，磁気測定から探る砕屑岩脈の注入方向：中新世小佐岩脈の例．日本地球惑星科学連合 2016 年大会，幕張メッセ，2016 年 5 月．

51　星　博幸・新井田佑太，スランプ褶曲を受けた細粒火山灰層の古地磁気と帯磁率異方性．日本地球惑星科学連合 2016 年大会，幕張メッセ，2016 年 5 月．

52　星　博幸，地学教育における「日本海の形成」の扱い方．名古屋地学会第 67 回総会・講演会，名古屋市科学館，2016 年 5 月．

53　星　博幸・新井田佑太，スランプ褶曲を受けた細粒火山灰層の古地磁気と帯磁率異方性．平成 27 年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．高知大学海洋コア総合研究センター，2016 年 3 月．

54　星　博幸，日本における新第三紀回転運動の新知見．日本地質学会第 122 年学術大会，信州大学，2015 年 9 月．

55　星　博幸・田村糸子・小松哲也，東海層群下部の指標テフラ，下石火山灰層の放射年代と記載岩石学的特徴．日本地質学会第 122 年学術大会，信州大学，2015 年 9 月．

56　星　博幸，地学教育における「日本海の形成」の扱い方．平成 27 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第 69 回全国大会，福岡教育大学，2015 年 8 月．

57　Hoshi, H., Paleomagnetic and rock magnetic characteristics of an andesitic aa flow in a vertical section. 26th IUGG General Assembly 2015, Prague, 2015 年 6 月．

58　Hoshi, H., Kato, D., Ando, Y. and Nakashima, K., Timing of the clockwise rotation of Southwest Japan: new paleomagnetic evidence from Miocene sedimentary rocks. 26th IUGG General Assembly 2015, Prague, 2015 年 6 月．

59　星　博幸・加藤大貴・安藤慶和・中島和夫，西南日本の時計回り回転運動のタイミング：中新世堆積岩から得られた証拠．日本地球惑星科学連合 2015 年大会，幕張メッセ，2015 年 5 月．

60　星　博幸・加藤大貴・安藤慶和，岐阜県瑞浪地域の約 16 Ma の古地磁気方位と回転運動．名古屋地学会第 66 回総会・講演会，名古屋市科学館，2015 年 5 月．

61　星　博幸・加藤大貴・安藤慶和，岐阜県瑞浪地域の約 16 Ma の古地磁気方位と回転運動．平成 26 年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．高知大学海洋コア総合研究センター，2015 年 3 月．

62　Hoshi, H. and Yamada, K., Paleomagnetic study of Plio-Pleistocene sediments in the concentrated deformation zone along the eastern margin of the Japan Sea. 2014 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, San Francisco, 2014 年 12 月．

63　星　博幸・山田　桂，本州北部の笹岡層（鮮新-更新統）の古地磁気と岩石磁気：その地質学的意味．地球電磁気・地球惑星圏学会第 136 回講演会，キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館），2014 年 11 月．

64　星　博幸，東北日本，羽越地域南部におけるブロック回転のタイミング．日本地質学会第 121 年学術大会，鹿児島大学，2014 年 9 月．

65　星　博幸・山田　桂，秋田県，鮮新-更新統笹岡層の古地磁気層序．日本地質学会第 121 年学術大会，鹿児島大学，2014 年 9 月．

66　Hoshi, H, Sako, K. and Namikawa, T., Oroclinal rotation in central Japan: paleomagnetic evidence from Early Miocene sedimentary rocks. Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 2014 meeting, Sapporo, 2014 年 7 月．

67　星　博幸・服部憲児・田中里志・宇佐美徹・中川良平・津村善博・小竹一之・森勇一，東海層群上部の古地磁気層序：ガウス–松山境界の探索．名古屋地学会第 65 回総会・講演会，名古屋市科学館，2014 年 5 月．

68　星　博幸・二村　昇，本州東部に分布する Znp-Ohta テフラの古地磁気と相対回転運動．日本地球惑星科学連合 2014 年大会，パシフィコ横浜，2014 年 4 月．

69　星　博幸・佐橋花菜，古地磁気解析から推定される一志層群（下部中新統）堆積岩の年代と回転運動．平成 25 年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．高知大学海洋コア総合研究センター，2014 年 3 月．

70　Hoshi, H., Sako, K., Namikawa, T. and Ando, Y., Paleomagnetic evidence for “oroclinal” rotation in the central Japan arc from Early Miocene sedimentary rocks. 2013 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, San Francisco, 2013 年 12 月．

71　星　博幸・服部憲児・田中里志・宇佐美徹・中川良平・津村善博・小竹一之・森勇一，東海層群上部の古地磁気層序：ガウス–松山境界の探索．地球電磁気・地球惑星圏学会第 134 回講演会，高知大学，2013 年 11 月．

72　星　博幸，東海層群上部の古地磁気層序：ガウス–松山境界の探索．三重県総合博物館シンポジウム「新第三紀の終焉と第四紀の始まり：東海層群から読み解く気候変動」，三重県総合博物館，2013 年 11 月．

73　星　博幸・服部憲児・田中里志・宇佐美徹・中川良平・津村善博・小竹一之・森勇一，三重県亀山地域に分布する東海層群のガウス–松山古地磁気極性境界．日

本地質学会第 120 年学術大会，東北大学，2013 年 9 月.

74 Hoshi, H. and Kato, D., Preliminary magnetostratigraphic results from a lower Middle Miocene sedimentary sequence in central Japan: a reversal excursion in Chron C5Br? XIIth International Association of Geomagnetism and Aeronomy (IAGA) Scientific Assembly, Merida, 2013 年 8 月.

75 星　博幸・山崎俊嗣・Jeff Gee・Nicola Pressling，ルイビル海山列，Canopus 海山から採取されたポストクルーズ試料の古地磁気伏角（IODP Expedition 330）．日本地球惑星科学連合 2013 年大会，幕張メッセ，2013 年 5 月.

76 星　博幸・岩野英樹・檀原　徹，本州中部，高遠地域の苦鉄質岩脈によって焼かれた母岩のフィッション・トラック年代 : 中新世ジルコン年代と若いアパタイト年代．日本地球惑星科学連合 2013 年大会，幕張メッセ，2013 年 5 月.

77 星　博幸・並河知器，本州中部，師崎層群（前期中新世堆積物）の日間賀層から得られた古地磁気結果．日本地球惑星科学連合 2013 年大会，幕張メッセ，2013 年 5 月.

78 星　博幸・山崎俊嗣，ルイビル・ホットスポットの後期白亜紀～古第三紀の古緯度 : ポストクルーズ古地磁気研究の速報．地球電磁気・地球惑星圏学会第 132 回講演会，札幌コンベンションセンター，2012 年 10 月.

79 星　博幸・山崎俊嗣，ホットスポットと太平洋プレートの運動 : 最近の知見．日本地質学会第 119 年学術大会，大阪府立大学，2012 年 9 月.

80 星　博幸・佐野正和，本州中部の中新世回転運動に対する新たな制約．日本地質学会第 119 年学術大会，大阪府立大学，2012 年 9 月.

81 星　博幸，二上山の岩石は 1500 万年前の火山活動によってできた : 年代と古地磁気の測定から．日本地質学会第 119 年学術大会，大阪府立大学，2012 年 9 月.

82 星　博幸・西村尚子，岐阜県土岐地域の安山岩岩脈群の古地磁気 : 岩脈形成と回転運動の考察．2012 年日本地質学会中部支部年会，岐阜大学，2012 年 6 月.

83 星　博幸・西村尚子，岐阜県土岐地域の安山岩岩脈群の古地磁気 : 岩脈形成と回転運動の考察．日本地球惑星科学連合 2012 年大会，幕張メッセ，2012 年 5 月.

84 星　博幸，南太平洋ルイビル海山列の国際深海掘削研究．名古屋地学会第 63 回総会・講演会，名古屋市科学館，2012 年 5 月.

85 星　博幸・太田貴子，領家変成帯に産する高い帯磁率を示すアプライト．名古屋地学会第 63 回総会・講演会，名古屋市科学館，2012 年 5 月.

86 星　博幸，地磁気誕生と生命への影響．蒲郡市生命の海科学館リニューアルオープン記念「地球と生命の共進化」講演とパネルディスカッション，2012 年 3 月.

87 星　博幸，IODP Exp. 330 (Louisville Seamount Trail)で採取された岩石試料の磁気測定結果．平成 23 年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．高知大学海洋コア総合研究センター，2012 年 3 月.

88 星　博幸，「ホットスポットの位置は変わらない」のか？ 日本地質学会東北支部 2009～2010 年度総会・個人講演会，福島大学，2011 年 12 月.

89 Hoshi, H. and Hayakawa, K., Eocene Paleolatitude of the Kitakami Massif in

Northeastern Japan. 2011 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, San Francisco, 2011 年 12 月.

90 星　博幸・神谷直宏・川上　裕，熊野酸性岩類，古座川岩脈の古地磁気記録とその意味. 地球電磁気・地球惑星圏学会第 130 回講演会, 神戸大学, 2011 年 11 月.

91 星　博幸,「ホットスポットの位置は変わらない」は正しいか？ 平成 23 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第 65 回全国大会，広島大学，2011 年 10 月.

92 星　博幸・太田貴子，領家帯に産する高い帯磁率を示すアプライト．日本地質学会第 118 年学術大会・日本鉱物科学会 2011 年年会合同学術大会（水戸大会），茨城大学，2011 年 9 月.

93 星　博幸・神谷直宏・川上　裕，熊野花崗斑岩の東偏古地磁気方位の意味．日本地質学会第 118 年学術大会・日本鉱物科学会 2011 年年会合同学術大会（水戸大会），茨城大学，2011 年 9 月.

94 星　博幸，富山県氷見地域，鮮新世 PM テフラ層の古地磁気方位．日本地球惑星科学連合 2011 年大会，幕張メッセ，2011 年 5 月.

95 星　博幸・加藤大貴，瑞浪層群，中期中新世堆積物（生俵層）の古地磁気．日本地球惑星科学連合 2011 年大会，幕張メッセ，2011 年 5 月.

96 星　博幸・Jeff Gee・Nicola Pressling・山崎俊嗣・IODP Expedition 330 Scientific Party, IODP Expedition 330 (Louisville Seamount Trail) の船上古地磁気測定結果の概要. 日本地球惑星科学連合 2011 年大会，幕張メッセ，2011 年 5 月.

97 星　博幸・伊藤秀敏, 愛知県三河湾北岸に分布する領家変成帯構成岩類の初期磁化率．名古屋地学会第 62 回総会・講演会，名古屋市科学館，2011 年 5 月.

98 星　博幸・加藤大貴，本州中部，瑞浪層群生俵層（中期中新世堆積物）から得られた古地磁気記録．平成 22 年度高知大学海洋コア総合研究センター全国共同利用研究成果発表会．高知大学海洋コア総合研究センター，2011 年 3 月.

99 星　博幸・早川佳奈，北上地塊の古地磁気方位と始新世古緯度．地球電磁気・地球惑星圏学会第 128 回講演会，沖縄県市町村自治会館，2010 年 11 月.

100 星　博幸，学校で地磁気・古地磁気はどのように扱われているか．地球電磁気・地球惑星圏学会第 128 回講演会，沖縄県市町村自治会館，2010 年 11 月.

101 星　博幸・早川佳奈，ユーラシア東縁，北上山地の回転運動と始新世古緯度．日本地質学会第 117 年学術大会，富山大学，2010 年 9 月.

102 星　博幸，学校教育で「地磁気・古地磁気」はどのように扱われているか．2010 年古地磁気・岩石磁気夏の学校，国立吉備青少年自然の家，2010 年 8 月.

103 星　博幸，地学を学んでいない高校生に地学の面白さを伝える試み :「愛知教育大学高校生サイエンス・サマー・キャンプ」の紹介．2010 年古地磁気・岩石磁気夏の学校，国立吉備青少年自然の家，2010 年 8 月.

104 星　博幸，地域の小・中学生に地学野外観察の機会を提供し，同時に大学生の教育力アップを目指す試み :「ひらめき☆ときめきサイエンス」の紹介．2010 年古地磁気・岩石磁気夏の学校，国立吉備青少年自然の家，2010 年 8 月.

105 星　博幸，地学を学んでいない高校生に地学の面白さを伝える試み：「愛知教育大学高校生サイエンス・サマー・キャンプ」の紹介．日本第四紀学会 2010 年大会公開シンポジウム「自然史の教育と研究をすすめるために：さまざまな分野からの取り組み」，東京学芸大学，2010 年 8 月．

106 星　博幸，地域の小・中学生に地学野外観察の機会を提供し，同時に大学生の教育力アップを目指す試み：「ひらめき☆ときめきサイエンス」の紹介．日本第四紀学会 2010 年大会公開シンポジウム「自然史の教育と研究をすすめるために：さまざまな分野からの取り組み」，東京学芸大学，2010 年 8 月．

107 星　博幸・高川美穂，中部日本，根尾対曲の形成を探る．2010 年日本地質学会中部支部年会，福井県立恐竜博物館，2010 年 7 月．

108 星　博幸，地学好きの生徒を増やすために：「愛知教育大学高校生サイエンス・サマー・キャンプ」の紹介とその意義．名古屋地学会第 61 回総会・講演会，名古屋市科学館，2010 年 5 月．

109 星　博幸，新第三紀／第四紀境界と古地磁気層序学．名古屋地学会第 61 回総会・講演会，名古屋市科学館，2010 年 5 月．

110 Hoshi, H., Paleomagnetism of early Miocene sediments in central Honshu, Japan: implications for the formation of curvature of the Median Tectonic Line. 2010 Kochi International Workshop on Paleo-, Rock and Environmental Magnetism, Center for Advanced Marine Core Research (KCC) of Kochi University, 2010 年 2 月．

111 Hoshi, H., A paleomagnetic study of early Miocene sediments in central Honshu, Japan: implications for the formation of curvature of the Median Tectonic Line. 2009 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, San Francisco, 2009 年 12 月．

112 Hoshi, H. and Takagawa, M., An Early Miocene stress field in the back-arc side of central Japan and its bearing on the Sea of Japan opening. 2009 Korea-Japan Joint Symposium on Ocean Drilling, ICC Jeju (Korea), 2009 年 10 月．

113 星　博幸，西南日本の時計回り回転：到達点と課題．日本地質学会第 116 年学術大会，岡山理科大学，2009 年 9 月．

114 星　博幸，地学好きの生徒を増やすために：「愛知教育大学高校生サイエンス・サマー・キャンプ」の紹介とその意義．日本地質学会第 116 年学術大会夜間小集会「教員養成と地学教育」，岡山理科大学，2009 年 9 月．

115 星　博幸，長野県高遠地域の玄武岩質平行岩脈群．2009 年古地磁気・岩石磁気夏の学校，国立信州高遠青少年自然の家，2009 年 9 月．

116 星　博幸，本州中部における中央構造線の変形とテクトニクス．2009 年日本地質学会中部支部シンポジウム「フォッサマグナ地域の地殻変動現象と中部地方の最新情報」，山梨大学，2009 年 6 月．

117 星　博幸，愛知県設楽地域の前期中新世堆積岩の古地磁気方位：テクトニックな意義．日本地球惑星科学連合 2009 年大会，幕張メッセ，2009 年 5 月．

118 星　博幸，1700 万年前の中央構造線の姿：大規模地質構造の定量復元の例．名古屋地学会第 60 回総会・講演会，名古屋市科学館，2009 年 5 月．

119 星　博幸，本州中部の中央構造線の変形：古地磁気の証拠．2008 年度日本地質

学会構造地質部会例会，長岡市民営国民宿舎悠久山湯元館，2009 年 3 月.

120 星　博幸・檀原　徹・岩野英樹，東北日本の反時計回り回転運動：小泊半島（津軽）の前期～中期中新世火山岩類からの新たな証拠．日本地質学会第 115 年学術大会，秋田大学，2008 年 9 月.

121 星　博幸，上野玄武岩類坂下岩体の古地磁気．2008 年岩石磁気・古地磁気夏の学校，パイラ松島ユースホステル，2008 年 9 月.

122 星　博幸，東北日本の中期中新世回転運動を示唆する新たな古地磁気結果．2008 年岩石磁気・古地磁気夏の学校，パイラ松島ユースホステル，2008 年 9 月.

123 星　博幸，中部日本における中央構造線の屈曲形成に対する新知見：長野県高遠地域の平行岩脈群と西偏古地磁気方位．2007 年日本地質学会中部支部シンポジウム「伊豆弧の衝突と中部日本のテクトニクス」，静岡大学，2007 年 6 月.

124 星　博幸・堤田健太，古地磁気学から探る中央構造線の変形．地球惑星関連学会 2007 年合同大会，幕張メッセ，2007 年 5 月.

125 星　博幸，紀伊半島の中新世テフラ層序，カルデラ地質，古地磁気回転，及び火成活動．平成 18 年度日本地質学会構造地質部会例会，南紀白浜温泉（Hotel Bay Lily），2007 年 3 月.

126 星　博幸・久野元晴・檀原　徹・岩野英樹・吉岡　哲，東北日本の中新世回転運動に関する新知見：青森県津軽地方に分布する権現崎層の FT 年代と古地磁気．第 30 回日本フィッション･トラック研究会, 防災科学技術研究所, 2006 年 1 月.

127 Hoshi, H., Danhara, T., Iwano, H., Ogawa, K., Nakamura, T. and Sakata, H., New insights into Miocene tectonics of Japan: preliminary results from a geochronological and paleomagnetic study at the eastern part of southwestern Japan.　International workshop on tectonics of eastern margin of Asian continent, Kobe University, 2005 年 9 月.

128 星　博幸，古地磁気学を応用したテクトニクスの研究法．2005 年古地磁気・岩石磁気夏の学校，産業技術総合研究所，2005 年 9 月.

129 星　博幸・山本裕二，アア溶岩流の古地磁気方位：桜島，大正溶岩と昭和溶岩の事例．地球惑星関連学会 2005 年合同大会，幕張メッセ，2005 年 5 月.

130 星　博幸・岩野英樹・檀原　徹，設楽層群の地質，古地磁気，及び FT 年代から探る西南日本弧の中新世テクトニクス. 第 29 回日本フィッション･トラック研究会，愛知教育大学，2005 年 1 月.

131 星　博幸，古地磁気からみた東北日本の回転運動．2004 年日本地質学会東北支部総会・シンポジウム「最近 20 年間の東北地方における地質研究の進展」，弘前大学，2004 年 11 月.

132 星　博幸，東北日本，福島県会津地方の時計回り回転運動：古第三紀火砕岩の古地磁気測定結果．第 116 回地球電磁気・地球惑星圏学会，愛媛大学，2004 年 9 月.

133 星　博幸，東北日本，福島県会津地方の時計回り回転運動：古第三紀火砕岩の古地磁気．日本地質学会第 111 年学術大会，千葉大学，2004 年 9 月.

134 星　博幸・川上　裕・中島和夫，紀伊半島中央部，奈良県中奥地域にみられる中

新世岩脈の古地磁気と岩石磁気．地球惑星関連学会 2004 年合同大会，幕張メッセ，2004 年 5 月．

135 星　博幸・川上　裕，古地磁気方位の比較からみた熊野酸性岩類北部と南部及び室生火砕流堆積物の時間関係．地球惑星関連学会 2004 年合同大会，幕張メッセ，2004 年 5 月．

136 星　博幸，設楽研究最前線．名古屋地学会第 249 回例会，愛知教育大学，2003 年 7 月．

137 星　博幸，陸上に露出する無層理堆積物の初磁化率（帯磁率）による対比．地球惑星関連学会 2003 年合同大会，幕張メッセ，2003 年 5 月．

138 星　博幸，紀伊半島とその周辺の古地磁気．第 27 回日本フィッション・トラック研究会，京都大学，2002 年 12 月．

139 星　博幸，紀伊半島とその周辺の古地磁気学．日本地質学会第 109 年学術大会，新潟大学，2002 年 9 月．

140 星　博幸，設楽の岩石磁気と古地磁気：再訪．2002 年岩石磁気・古地磁気夏の学校，関西地区大学セミナーハウス，2002 年 8 月．

141 星　博幸・野澤竜二郎，愛知県：研究成果と課題．2002 年日本地質学会中部支部総会・シンポジウム「中部地方の地質学の発展をめざして：研究成果と課題」，名古屋大学，2002 年 6 月．

142 星　博幸・檀原　徹・岩野英樹，設楽層群（中新統）の高密度サンプリング FT 年代測定．地球惑星関連学会 2002 年合同大会，国立オリンピック記念青少年総合センター，2002 年 5 月．

143 星　博幸，東北本州における後期新生代の地塊回転運動．2002 年構造地質研究会春の例会シンポジウム「東北日本の地体境界に関する諸問題」，山形大学，2002 年 3 月．

144 星　博幸・加藤富士子，アア溶岩と古地磁気方位．日本地質学会第 108 年学術大会，金沢大学，2001 年 9 月．

145 星　博幸，アア溶岩流の古地磁気．2001 年岩石磁気・古地磁気夏の学校，東海地区国立大学共同中津川研修センター，2001 年 8 月．

146 星　博幸・佐野正和，中新統津具層の古地磁気からみた中部日本の中新世テクトニクス．地球惑星関連学会 2001 年合同大会，国立オリンピック記念青少年総合センター，2001 年 6 月．

147 星　博幸・久野満代，溶結火砕流堆積物の古地磁気．地球惑星関連学会 2001 年合同大会，国立オリンピック記念青少年総合センター，2001 年 6 月．

148 星　博幸・加藤富士子，アア溶岩流の古地磁気．地球惑星関連学会 2001 年合同大会，国立オリンピック記念青少年総合センター，2001 年 6 月．

149 Hoshi, H. and Yokoyama, M., Paleomagnetic study for Miocene N-S-striking dikes in the Shitara area, Aichi Prefecture, central Japan. 日本地質学会第 107 年学術大会，島根大学，2000 年 9 月．

150 星　博幸，褶曲を受けた堆積岩の古地磁気：秋田の例．2000 年岩石磁気・古地磁気夏の学校，島原共同研修センター，2001 年 8 月．

151 Hoshi, H. and Yokoyama, M., Paleomagnetic study for middle Miocene dikes in the Shitara basin, southwest Japan. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Tokyo, 2000 年 6 月．

152 Hoshi, H., Iwano, H. and Danhara, T., Fission-track dates and paleomagnetism of the Miocene Nijo Group, Southwest Japan. 第 106 回地球電磁気・地球惑星圏学会，仙台市民会館，1999 年 11 月．

153 星　博幸・岩野英樹・檀原　徹, 中新統二上層群のフィッション・トラック年代. 日本地質学会第 106 年学術大会，名古屋大学，1999 年 10 月．

154 星　博幸・田中大介・高橋雅紀・吉川敏之，二上山地域の古地磁気と西南日本の回転時期．地球惑星関連学会 1999 年合同大会，国立オリンピック記念青少年総合センター，1999 年 6 月．

155 Hoshi, H. and Takahashi, M., Miocene counterclockwise rotation of Northeast Japan: a review. 第 104 回地球電磁気・地球惑星圏学会，茨城県青少年会館，1998 年 11 月．

156 星　博幸・高橋雅紀，東北日本の反時計回転運動：現時点でのまとめ．第 256 回地質調査所研究発表会「炭化水素ポテンシャルにまつわる最近の基礎的研究成果」．工業技術院地質調査所，1998 年 10 月．

157 星　博幸・高橋雅紀，東北日本の反時計回転運動：現時点でのまとめ．日本地質学会第 105 年学術大会，信州大学，1998 年 9 月．

158 星　博幸, 陸上セクションの磁気極性層序と高精度年代測定：茂木地域の下部中新統に対する研究（招待講演）．日本地質学会第 105 年学術大会，信州大学，1998 年 9 月．

159 星　博幸，東北日本の回転について：A review．1997 年度岡山理科大学自然科学研究所地球環境部門シンポジウム「岩石・鉱物の微小領域に記録された地球型惑星の歴史」．岡山理科大学，1997 年 12 月．

160 星　博幸・松原尚志，岩手県二戸地域に分布する前期中新世火山岩・火砕岩の古地磁気：島弧の回転と島弧内回転に関して．日本地質学会第 104 年学術大会，九州大学，1997 年 10 月．

161 星　博幸，茂木地域に分布する下～中部中新統の磁気極性層序とその意義．第 102 回地球電磁気・地球惑星圏学会，北海道大学，1997 年 10 月．

162 Hoshi, H. and Saito, K., Paleomagnetism of Miocene volcanic rocks of NE Japan: Implications for the timing of arc rotation and the possibility of diachronic fan-shaped opening of the Sea of Japan. 1996 American Geophysical Union Fall Meeting, San Francisco, 1996 年 12 月．

163 Hoshi, H. and Matsubara, T., Preliminary paleomagnetic results from igneous rocks of the Ninohe area: Constraints on the timing of counterclockwise rotation of Northeast Japan. 第 100 回地球電磁気・地球惑星圏学会，府中市民会館，1996 年 10 月．

164 星　博幸, 精密放射年代測定が本邦の第三紀テクトニクスに対して与えるインパ

クト：“グリーンタフ”がおもしろい！ 1996 年代測定研究集会，工業技術院地質調査所，1996 年 8 月．

165 星　博幸・高橋雅紀，中新世茂木火山岩類の古地磁気と東北日本回転時期の再検討．日本地質学会第 103 年学術大会，東北大学，1996 年 4 月．

166 Hoshi, H. and Takahashi, M., Knowledge on Early Miocene tectonics in the Motegi area, southern part of Northeast Japan: Temporal variations of volcanism, fault activity, stress field, and vertical-axis rotation. 地球惑星関連学会 1996 年合同大会，大阪大学，1996 年 3 月．

167 星　博幸，栃木県茂木地域に分布する下部中新統の古地磁気層序：前期中新世の東北日本前弧域における火成活動の年代論．平成 7 年度日本地質学会東北支部学術講演会．仙台市科学館，1995 年 10 月．

168 星　博幸・高橋雅紀，栃木県茂木地域に分布する前期中新世火山岩の古地磁気：東北日本の回転は 17.6 Ma 以前!? 第 98 回地球電磁気・地球惑星圏学会，京都市北文化会館，1995 年 10 月．

169 星　博幸・高橋雅紀，栃木県茂木地域にみられる前期中新世シートコンプレックス（予報）．日本地質学会第 102 年学術大会，広島大学，1995 年 4 月．

170 Hoshi, H., Sato, K. and Saito, K., Age determination for the Miocene volcanic rocks distributed in the vicinity of the Yamagata Basin, Northeast Japan. 地球惑星関連学会 1994 年合同大会，東北大学，1994 年 3 月．

171 星　博幸・高橋雅紀・斎藤和男，吉野累層における古地磁気学的研究．地球惑星科学関連学会 1993 年合同学会，東京都立大学，1993 年 3 月．

雑文・その他

1 書評「藤岡換太郎　天変地異の地球学：巨大地震，異常気象から大量絶滅まで（講談社ブルーバックス）」，みんなの地学，第 4 号，2022 年 9 月．

2 地質学雑誌特集号「日本海拡大に関連したテクトニクス，堆積作用，マグマ活動，古環境」前文（その 2）．地質学雑誌，127，no. 9，2021 年 9 月．

3 地質学雑誌特集号「日本海拡大に関連したテクトニクス，堆積作用，マグマ活動，古環境」前文（その 1）．地質学雑誌，127，no. 7，2021 年 7 月．

4 日本海拡大と東北日本の回転．鳥海山・飛島ジオパークリレーコラム（私の街さかた No.361, 25; 広報ゆりほんじょう No.375, 13; 広報にかほ No.363, 23; 広報ゆざ No.717, 7），2020 年 11 月．

5 西日本で起きた 1500 万年前の特異なマグマ活動．milsil（ミルシル；国立科学博物館），通巻 74 号，16-17，2020 年 3 月．

6 書評「絵でわかるプレートテクトニクス：地球進化の謎に挑む（是永　淳；講談社）」，名古屋地学，no. 81，28，2019 年 5 月．

7 珪藻化石群集解析から古環境を探る．愛知教育大学「環境報告書 2017」，18，2018 年 3 月．

8 書評「木下是雄原作・久間月慧太郎作画，まんがでわかる 理科系の作文技術（中央公論新社）」，名古屋地学，no. 80，35，2018 年 5 月．

9 書評「藤岡換太郎，三つの石で地球がわかる：岩石がひもとくこの星のなりたち（講談社ブルーバックス）」，地学教育，70，no. 3，114，2018 年 1 月．

10 書評「藤岡換太郎，深海底の地球科学（朝倉書店）」，石油技術協会誌，82，no. 3，219，2017 年 5 月．

11 長～い時間スケールで地球と生命，そして地球環境を考える．愛知教育大学「環境報告書 2016」，28，2017 年 3 月．

12 書評「藤岡換太郎著，相模湾 深海の八景：知られざる世界を探る（有隣新書）」，日本地質学会ニュース，19，no. 7，24–25，2016 年 7 月．

13 書評「藤岡換太郎・平田大二編著，日本海の拡大と伊豆弧の衝突：神奈川の大地の生い立ち（有隣新書）」，石油技術協会誌，80，no. 2，159，2015 年 3 月．

14 シープクリークキャニオン．日本地質学会ニュース，16，no. 10，表紙写真及び紹介文，2013 年 10 月．

15 ラ・パルマ島（カナリー諸島）の火山岩類．日本地質学会ニュース，15，no. 10，表紙写真及び紹介文，2012 年 10 月．

16 「小・中学生のための地学野外観察会」報告．名古屋地学，no. 72，31–32，2010 年 5 月．

17 巡検報告：耽羅層と玄武岩質岩脈（The Tamna Formation and Basaltic Dykes）．日本地質学会ニュース，12，no. 12，6，2009 年 12 月．

18 地学の視点でゴミ問題を考える．愛知教育大学「環境保全広報 2008」，10–11，2009 年 3 月．

19 地層や岩石から「大地の変動」を読み解く．愛知教育大通信 Campus Now!，no. 7，12–13，2007 年 10 月．

20 地質学雑誌特集号「紀伊半島における中新世火成作用とテクトニクス」前文．地質学雑誌，113，no. 7，281，2007 年 7 月．

21 地質学雑誌特集号「紀伊半島における中新世火成作用とテクトニクス」表紙．地質学雑誌，113，no. 7，2007 年 7 月．

22 地質調査研究報告 54 巻 7/8 号の表紙及びその解説．地質調査研究報告，54，no. 7/8，2003 年 8 月．

23 大学での勉強．愛知教育大学学園だより，no. 97，7，2003 年 4 月．

24 地質調査所月報特集号「炭化水素鉱床と最近の研究成果（Part 1）」表紙及びその解説．地質調査所月報，50，no. 1，1999 年 1 月．